Solarisシステムのモダナイゼーション支援 ～RHELへの移行支援サービスの活用～

Fsas Technologies

課題

- 現行Solarisシステムを速やかに移行したいが、RHELの知識不足により設計が進まない(RHELの早急な習得が困難)。
- 既存Solaris資産を効率的に短期で移行したい(非互換対応箇所・規模の把握、非互換情報の確認)。

効果

- RHELの仕様、推奨パラメータ設定、使用上の留意事項などシステム設計に関するお客様の疑問をQ/Aにより解消。
- SolarisのシェルスクリプトやC言語ソースからコマンド・関数の非互換情報を抽出する移行支援ツールにより、プロジェクト開始時の工数見積もり、詳細設計を効率化。

適用のポイント

お客様のシステム移行に関するRHELの疑問を解消、移行支援ツールによる提案・設計の効率化

◆ 様々なRHELの疑問を解決に導くQ/A対応

Linuxに精通したエンジニアがSupportDeskでは訊けないRHELに関するお客様の疑問*にきめ細かく対応します。(*例：設計に関するよろず相談)

◆ 移行支援ツールによる見積・設計の効率化

OSの実装に大きく依存するC言語ライブラリ関数やシステムコール、コマンドのSolaris/RHELの非互換ポイントを抽出。

移行に必要な規模感の見積やソース上の非互換箇所の把握に役立ちます。

※Windows上で動作するアプリケーションで、C言語ソース、シェルスクリプトを入力とし、使用されているシステムコール／関数、コマンドにSolaris-RHEL間で非互換があるものを抽出します。(非互換はSolaris、RHELの公式マニュアルから調査した一般的な差分情報がベースになります。)

【活用例】

プロジェクト提案フェーズ

アプリケーションの移行にかかる費用（工数）を手間をかけずにざっくり見積もりたい。

詳細設計フェーズ

アプリケーション移行のために修正が必要な箇所をとりこぼしなく抽出し、詳細設計を実施したい。

移行支援ツール

非互換箇所総数、移行の難易度(3段階)の情報出力により、アプリケーション移行に要する工数見積の基礎データを容易に把握できます。

移行支援ツールは非互換箇所の位置、非互換の概要を提供するため、詳細設計をスムーズに進めるのに役立ちます

© 2024 Fsas Technologies Inc.

お問い合わせ

Fsas Technologies

- 当社のLinuxソリューションや、Linux製品についてのお問い合わせは、下記お問い合わせページよりご依頼ください。

Linux情報へのお問い合わせ

https://www.fujitsu.com/jp/products/software/os/linux/contact/

© 2024 Fsas Technologies Inc.